

平成29年度事業計画

【基本方針】

現在、地域福祉をとりまく環境は、少子・高齢化の進展、人口減少、家族関係を含む人間関係の希薄化などにより、地域で支援を必要とする人が増加する一方、助け合いの機能は縮小する状況にあります。単身世帯や認知症高齢者は増加しており、これらに起因する福祉課題が増加し、その対応が求められています。

高齢者福祉に関しては、平成29年度より介護保険法の改正に伴う新しい総合事業への移行が予定されており、今後、地域での支え合い活動の推進が益々重要となります。

また、地縁・血縁などの人のつながりの希薄化により、子育て世帯の孤立や育児不安、育児ストレスも増加し虐待に発展する事例もあります。平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、貧困の連鎖を防ぐ取り組みについても全国的に進められています。

社会の変遷や制度の改正により、地域や住民が抱える課題は、ますます複合化、多様化しています。その様な状況を踏まえ、各地域における課題を的確に捉え、有効な対応を進めていくことが、ますます大切になって参ります。

こうした中で、中央区の地域課題であるタワーマンションを始めとする大規模集合住宅の問題、人口の1割を占める外国人の問題、年々環境が悪化している共同募金活動や配分金の問題、地域での支え合い活動が大切になる中での区社協ボランティアセンターの活性化の問題等があります。こうした地域課題に細かく対応していくため、平成28年度からの「神戸市中央区社会福祉協議会地域福祉活動推進計画」（目標年次：平成32年度）を策定しました。本計画の2年目となる平成29年度においては、その進捗状況を把握するとともに、必要に応じて計画の見直しを行いながら、計画的に地域課題に対応していくと共に、その進捗を公表し地域の皆様の理解を得ながら、事業を確実に推進して参ります。

I. 平成29年度事業について

1. 地域福祉ネットワーク事業の推進

平成28年度から地域福祉ネットワークが2名体制となり、区役所くらし支援窓口との連携を深めています。更に地域福祉課題の把握に力を入れアウトリーチ機能の強化と課題解決能力の拡充を図って参ります。

また、生活困窮者や障がい者に対し、一般就労の準備段階である社会参加を促進し、居場所や活躍の場としての「しごと」づくりにも取り組みます。

そして、「外国にルーツをもつ子どもへの学習支援」や、「生活課題のある子どもに対する居場所づくり」については、実施団体や関係機関等のネットワーク構築に力を入れます。

地域課題である「担い手の発掘・育成」「担い手と活動の場のマッチング」に対しては、区ボランティアセンターの機能を活用し支援を進めていきます。具体的には、一般企業や大学・学校、公益法人、NPO法人といった団体による地域活動への参加を働きかけ、地域におけるボランティア活動の多世代化を進めます。

また、民生委員児童委員協議会や婦人会、障がい者事業所等とのネットワークづくりとして、引き続き東日本大震災被災地支援、熊本地震支援のための「拡大版いちいちバザール」に取り組んで参ります。

(主な事業・予算)

- ・地域福祉ネットワーク事業活動費 【750千円】
- ・外国にルーツ学習支援、子どもの貧困・居場所支援 【946千円】
- ・拡大版いちいちバザール 【150千円】

2. 地域支え合い推進事業・高齢者福祉の推進

介護保険法改正に伴う地域団体や関係機関の情報共有の場である「(区)協議体」を引き続き開催し、「新しい総合事業」への移行を円滑に進めます。

また、社会福祉法人の公益的な取組みが円滑に実施されることを目的にした「連絡協議会」を設置し、区内社会福祉法人と地域団体や関係機関との情報共有やネットワークづくりに努めていきます。

高齢者福祉では、区民生委員児童委員協議会、あんしんすこやかセンターや区役所と連携しながら、ひとり暮らし高齢者等の見守り活動を支援していきます。また、タワーマンションを含む大規模集合住宅におけるひとり暮らし高齢者等の要支援者に対する支援方法を検討し、民生委員や友愛訪問グループ等が活動しやすい環境づくりを行い、高齢者等の見守り活動の充実を図ります。

(主な事業・予算)

- ・地域支え合い推進事業費 【420千円】
- ・コミュニティサポート育成支援事業 【658千円】

3. 子育て支援の推進

児童の健やかな成長と子育て支援の推進を目指し、市社会福祉協議会が指定管理者である区内の神戸市立児童館において、放課後学童クラブ（3児童館、1コーナー）等の運営を行います。

新規事業として、子どもの孤食を防ぐため長期休業中等に放課後学童クラブに登録していない児童に対して児童館で「こどもおべんとうひろば」を開設します

また、「子育てコミュニティ育成事業」や「児童館合同ふれあい活動事業」等の実施を通じて、地域における子育て支援を進めていきます。

更に、児童館における子ども見守り事業や、小・中学校における防災学習を通して、子ども達の防災意識の向上を図っていきます。

（主な事業・予算）

- ・こどもおべんとうひろば 【300千円】
- ・子育てコミュニティ育成事業 【400千円】
- ・中学生健全育成事業 【150千円】

4. 障がい者福祉の推進

中央区障害者自立支援協議会と連携し、障がい者の福祉を推進します。

また、中央区健康福祉フェア「ハートフルフェスタ」を通して、広く区民に対し障がい者への理解を進める機会を提供します。

なお、15年間事務局を担って参りました「ハートでアートこうべ」については、全市的事業として実施するため他団体に事務局を移管しますが、今までの経験を活かした支援をして参ります。

（主な事業・予算）

- ・ハートフルフェスタ 2017 【1,650千円】 ※広報、啓発事業として実施

5. 相談援助事業の実施

区民が日常生活の中で発生した問題解決の糸口が見出せるよう、区民生委員児童委員協議会の協力による「心配ごと相談」の窓口や、市社会福祉協議会が実施する「成年後見人制度相談」の窓口を区役所内に定期的に設置します。

また、生活福祉資金貸付事務では、高齢者、障がい者、生活困窮の方へ貸付事務を行うとともに、生活困窮者自立支援事業との連携により、低所得世帯の経済的自立や社会参加の促進、離職した方々の生活再建を支援していきます。

6. ボランティアセンターの運営

少子・高齢化の進展、人口減少、家族関係を含む人間関係の希薄化等により、地域での支え合い活動が、重要性を増しています。また、非常時における地域活動の担い手としてのボランティアの育成や確保等、様々な分野においてボランティアニーズは高まっていくものと考えられます。

そこで、ボランティア育成のための研修会を開催すると共に、ボランティアの把握・発掘のために企業、大学、法人等を対象にするアンケート調査や、大学ボランティアセンター等との情報交換会等を実施します。

また、調査等を通して得た情報を基に、ふれあいのまちづくり協議会を単位に実施する小地域ボランティア講座の開催を通して情報共有し、地域での新たなボランティアの発掘に努めるとともに、地域課題については、地域福祉ネットワーク事業に繋がります。

(主な事業・予算)

- ・アンケート調査、情報交換会 【130 千円】
- ・小地域ボランティア講座 【350 千円】

II. 中央区社協地域福祉活動推進計画（平成 28～32 年度）の推進

(平成 28 年度の進捗状況と平成 29 年度の重点事業)

平成 29 年度は、中央区社会福祉協議会地域福祉活動推進計画の 2 年目となるため、年度内に地域福祉推進計画策定委員会を開催し、進捗状況の確認および必要に応じて推進計画の見直しも含め柔軟に検討します。

1. 共同募金活動の強化及び配分事業の透明化

【平成 28 年度進捗状況】 概ね目標を達成しました。

- 活動の強化では、協力先に対する協力事業証（ステッカー）の配付、新たな街頭募金協力校の開拓、イベント募金や新たな募金手法として募金百貨店事業を拡充しました。
- また、中央区日本赤十字募金事務局と連携し、一括募金を導入し、民生委員をはじめ地域の方々の負担軽減に取り組みました。
- 配分金事業では、事業の透明化を図るため、赤い羽根共同募金と善意銀行や各種基金を活用し、公募助成を実施しました。

【平成29年度重点内容】

- 早い時期から街頭募金、イベント募金、募金百貨店事業に力を入れ、募金額が維持出来るよう取組みます。
- 一括募金を引き続き取組み、民生委員をはじめ地域の方々の負担軽減に取り組めます。
- 公募助成については、年度初めから事業を実施出来るよう準備を進め、区広報紙に掲載する等、広報に力をいれます。

(主な事業・予算)

- ・公募助成 【1,500千円】

2. 善意銀行及び各種基金の有効活用

【平成28年度進捗状況】 概ね目標を達成しました。

- 善意銀行および各種基金については、具体的な用途を明確にした予算を計上し、その財源を活用した事業を実施することができました。
- 善意銀行では、災害見舞金や交通遺児見舞金を支給するための、体制整備と情報収集体制を整えました。
- 地域福祉推進基金では、地域福祉ネットワーク事業において、明らかになった支援を行うための助成要綱を策定しました。

【平成29年度重点内容】

- 平成28年度に引き続き善意銀行及び各種基金の有効活用に取り組めます。
- 地域福祉充実計画の作成が必要となった場合は、計画に基づいて基金を活用してまいります。

3. タワーマンション等における社会的孤立の防止

【平成28年度進捗状況】 目標の一部を達成することが出来ました。

- タワーマンションへの取組みとして、子育て中の世帯が多く子どもの居場所が少ない地域に建つマンションに、新たな子育てグループを1ヶ所立ち上げることが出来ました。

【平成29年度重点内容】

- 地域を中心に幼児とその保護者を対象に「子ども子育てサポート事業（にこにこトレイン）」を、こども家庭支援課、地域子育て応援プラザ中央と連携し、タワーマンションを中心に実施を拡大します。また、「ぽかぽっぽモトロク」「のびのびに一の」等の子育て拠点を活用します。
- まちづくり推進課とも連携し、子どもから高齢者までのコミュニティづくりを支援します。

4. ボランティアセンターの活性化

【平成28年度進捗状況】 概ね目標を達成することができました。

- ボランティア入門講座の開催等を通じて、新たな個人・学校・団体のボランティア登録やマッチングが増加傾向にあります。
- なお、多様な主体の参加のために、企業、学校などへのボランティア活動に関する調査は平成28年度から取り掛かり、29年度に実施し地域活動に結び付けます。

【平成29年度重点内容】

- 窓口等での対応を更に活性化することを目的に、「中央区ボランティア紹介冊子」や、ボランティアセンターの活動内容の紹介パンフレットを作成し、コーディネート機能の強化やホームページの活用に努めます。
- 企業、学校などへのボランティア活動に関する調査を実施し、地域での新たな担い手の発掘などに結び付けます。

5. 地域福祉ネットワーク事業の拡充

【平成28年度進捗状況】 概ね目標を達成することができました。

- 外国にルーツを持つ子どもと世帯への支援や生活課題を抱える子どもの居場所づくり支援、また、区役所のくらし支援窓口と連携し、ふれあい給食会で地域出張相談窓口の設置や必要に応じて、生活困窮者等への訪問相談支援（アウトリーチ）、ふれあいのまちづくり協議会単位での地域課題に対してネットワーク会議を開催し支援しました。

【平成29年度重点内容】

- 平成28年度に引き続き、個別や地域の課題に対しネットワーク会議を開催し課題解決に努めます。
- ボランティアセンターと連携し、小地域ボランティア講座の開催などを通して地域課題を確認します。また、地域の課題について、その解決のための地域福祉ネットワーク会議を新たに3地区で実施し解決に向けた支援を行います。